

ことうら議会だより

2023年8月1日発行 第77号



トピックス

- ・特集 P 2～3
ワタシが琴浦町に住む理由
- ・臨時会、定例会 P 4～5
物価高騰対策などの補正予算を可決
- ・一般質問 P 9～19

県消防ポンプ操法大会で 健闘する町消防団第5分団

郡操法大会で優勝した町消防団第5分団が、
県大会に出場し健闘しました。



特集 ワタシが琴浦

～グエンさんとビアンカ

琴浦町には273名（7月1日現在）の外国籍の方が住んでおられます。
あります。そこで今回町在住の2名の方に琴浦町のことなど聞いてみま



グエンさん

プロフィール

出身地：ベトナム（ハノイ近郊）

- 2014年、技能実習生として大阪へ。
- ベトナムで日本語教師をしていた奥さんと大阪で再会し、2016年結婚。長男誕生。
- 3年前に奥さんの実家のある琴浦町に移住。
- 2022年12月、浦安駅前に“ベトナム雑貨&カフェ”の『黒（デン）』を開業（定休日：月・火、営業時間：10～19時）。

Q どんな理由で琴浦町に来られたのですか？

A 子どものためにも田舎のほうが良いと思いました。2016年大阪で結婚し、長男が誕生したのですが、私は当時“八百屋さん”で朝から夕方まで働いていて、子どもと遊ぶ時間ありませんでした。そこで、3年前に妻の実家のある琴浦町に移住しました。

Q 琴浦町に住んで良かったと思うことはなんですか？

A 大山も海もあるし、田舎なので静かだし、妻の両親も近くにおり、子ども（4歳・2歳男子）にとっても良いと思います。

私も釣り・海泳ぎ・サッカー・トレーニングと楽しんでます。大阪に住んでいたときはできませんでしたから。

Q 琴浦町に住んで困ったことはありますか？

A 琴浦町に200人ぐらいいるベトナム人は、やはり日本語ができないと、買い物や会社への要望などで困ることが多いようです。

私自身は日本語も話せるし、自動車免許もありますし、近くに妻の両親もおり、困ったことはほとんどありません。

ベトナムでは、マンガやアニメで日本人気が高いのですが、円安の影響で生活が苦しい人もいます。

Q 町に希望することはありますか？

A 海で貝を採って捕まった外国人がいましたが、ルールを知らなかったのだと思います。

日本語教室や日本のルール・習慣を説明する場が必要かもしれません。

Q 自己PR

A いまは飲み物だけですが、食事も提供できるようにになりたいと思っています。



タイミルク・グリーンティー

店『黒（デン）』

町に住む理由

さんに聞いてみました～

これからも日本のみならず、海外からも選ばれる琴浦町をめざす必要がありました。



ビアンカさん(イラスト:地域おこし協力隊員前田桃子)

プロフィール

出身地：米国カリフォルニア州サリナス（作家スタインベックの出身地）。

- 15歳でハワイに移住。大学時代に日本に留学。
- 2014年、日本へ引っ越し。空家問題を知る。
- 2022年、パートナー（鳥取環境大学卒業）と琴浦町に移住。
- 植物画家。植物画教室『ワイルドフラワーアトリエ』（月2回）を主宰。

Q どんな理由で琴浦町に来られたのですか？

A コロナ前、鳥取に旅行で来県。風景にFalling in Love（恋に落ちました）。琴浦に来た時は、ちょうど霧が出ていて、出身地のサリナスに似て懐かしかったです。

パートナーと一緒に空家をリフォームする夢があり、県内の他の土地も見て回りましたが、一番印象に残った八橋を選びました。

Q 琴浦町に住んで良かったと思うことは何ですか？

A コミュニティの暖かさに感動しました。涙が出るくらい大好きです。タケノコをもらったり、雪かきの仕方を教えてく



ビアンカさんが好きな『八橋街道』

れたり、公民館で笹餅を一緒に作って食べたり、祭りの準備をしたりして楽しいです。お隣さんを大切にしたいと思っています。

八橋街道は絵本から出てきたような街で、印象的。琴浦町で夢のような家と町並み（八橋街道）に出会いました。

八橋の昔はどうだったんだろう？小泉八雲が来た時はどんな街だったんだろう？お城があった時はどんな街だったんだろう？と想像します。

街並みを保存し、移住者が増えて空家に命を吹き込んでくれたら素敵だなと思います。

Q 琴浦町に住んで困ったことはありますか？

A 自転車移動なので、「不便ではないか？」とよく心配されますが、ここに来たのはスローライフがほしかったからです。1時間に1本の列車でも苦にならないし、それだけでも有り難いと思っています。

Q 町に希望することはありますか？

A 街並みを保存し、移住者が増えて空家に命を吹き込んでくれたら素敵だなと思います。

Q 自己PR

A 購入した空家で純喫茶&ギャラリーを開くつもりです。その時、ぜひ遊びに来てください。



ビアンカさんの植物画

＊＊＊ ビアンカさんの展覧会 ＊＊＊

- 『個展』 11/18～26、ギャラリー330（鳥取市丸山交差点近く）
- 『植物画教室展』 3/2～10、リフレプラザ倉吉

4月臨時会

6月定例会

物価高騰対策

4月25日開催の臨時会と6月定例会では、物価高騰対策を含めた補正予算をはじめとする補正予算5件、消防ポンプ自動車・除雪ドーザー5件他について審議し、同意した。

4月臨時会（4月25日）

令和5年度一般会計補正予算（第1号）

補正額 9041万円

物価高騰等の影響が大きい低所得の子育て世帯及び、低所得世帯を支援するための経費。

- | | |
|---|--------|
| ○低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業
児童1人×5万円 | 2603万円 |
| ○価格高騰重点支援事業（低所得世帯支援枠）給付金支給事業
住民税非課税世帯1世帯×3万円 | 6438万円 |

建設工事請負契約の締結について

- | | |
|---------|-----------------------|
| ○工事名 | 新ふなのえこども園・成美地区公民館造成工事 |
| ○工事完成期限 | 令和5年9月29日 |
| ○請負金額 | 1億219万円 |

6月定例会（6月8日～21日）

令和5年度一般会計補正予算（第2号）

補正額 1億6765万円

令和5年度一般会計補正予算（第2号）については、賛成12名 反対3名で原案どおり可決された。

● 物価高騰対策

町民支援

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| ・物価高騰対策町民支援商品券配布事業
1世帯3千円+世帯員1人2千円 | 5579万円 |
|---------------------------------------|--------|

など補正予算を可決

正予算7件、学校施設利用に関する条例の一部改正、一般会計補正の財産取得、農業委員会委員の任命、各地区財産区管理委員の選任

事業者支援

・燃油高騰対策特別金融支援事業	77万円
・医療・社会福祉施設物価高騰対策支援事業	1072万円
・畜産経営緊急救済事業	4750万円
・漁業者等電気価格高騰対策支援事業	20万円

● 他の対策

・農業振興強化基盤整備促進支援事業	1500万円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業	2668万円
・空き家除去補助金（上限15万円）	450万円
・まなびタウンとうはく天井・保温復旧工事設計	1671万円

令和5年度一般会計補正予算（第3号）

補正額 179万円

町内事業所の閉店に伴い、こども園で給食用食材を保管する冷凍冷蔵庫を購入

● ふなのえこども園・ことうらこども園冷凍冷蔵庫購入等	179万円
-----------------------------	-------

討 論

賛成

川本正 議員

補助金のあてが外れたのは事実だが、基金の取り崩しにおいて対応している。経済対策や公共施設の補修は必要と考え賛成する。

反対

押本 議員

国庫支出金等の歳入減は町長のトップセールスの責任。

まなタン修繕費については、3月議会の修正案に答えていない。エレベータ、ホール天井を改修しないことは安全性や福祉の面から反対する。

賛成

12

反対

3

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果			金光	小椋	谷田	田中	川本	山本	押本	澤田	桑本	川本	小椋	手嶋	前田	桑本	井木	大平
	可決	賛成	反対	敦	憲浩	順子	肇	善孝	秀正	昌幸	豊秋	賢治	正一郎	正和	正巳	智章	始	裕	高志
定例会 令和5年度琴浦町一般会計補正予算(第2号)	可決	12	3	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願は全会一致で採択または不採択となった。

○=賛成・採択 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥

請願・陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
5年陳情第5号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しについての陳情	鳥取県中部森林組合 代表理事組合長 小川 克彦	総務産業	採択	採択
5年陳情第6号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県高等学校教職員組合中部支部 支部長 谷口 善一朗 鳥取県教職員組合中部支部 支部長 山根 義孝	教育民生	採択	採択
5年陳情第7号	地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 琴浦町職員労働組合 執行委員長 吉田 啓	総務産業	採択	採択
5年陳情第8号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 琴浦町職員労働組合 執行委員長 吉田 啓	教育民生	採択	採択



委員会の報告



総務産業常任委員会

委員長 川本 正一郎

6月16日に委員会を開催し、陳情2件を審査し、全会一致で採択することに決した。また、各課からの報告事項の説明を受け質疑を行った。

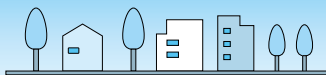
委員会終了後は琴浦大山警察署より「地域の安全と交通安全」について研修会を実施し、VRを使った交通安全教室も行った。また現地視察として、改築移転された浦安地区公民館、東伯土地改良区、琴浦町社会福祉協議会が入居する、琴浦町複合交流施設を視察した。

《質疑応答》

- Q** 9月より給食の前日配送のための冷凍冷蔵庫導入だが、配送業者と地産地消の継続は。
- A** 配送業者は今のところ未定。地産地消は引き続き取り組みたい。
- Q** 環境基本計画について町民が快適に過ごすとするが、アレルギーに関する審議は。
- A** 環境保全に対する議論が進んでいる。
- Q** マダニの被害が報道されているが町民への周知徹底は。
- A** 周知し注意喚起を行う。
- Q** 生ごみ分別回収の応募状況は。
- A** 3集落が応募の意向を示されている。
- Q** サウンディング調査での評価額との格差、留意点は。
- A** 調査ツアー時にある程度の額や内容を説明し提示する。
- Q** カウベルホールの空調・天井等修理の必要があった場合は。(サウンディング調査)
- A** 町では修理できないスタンスであることを説明する。
- Q** 議会放映で「議事録は残さなくていい」。その後の結果を町民は知りたがっているが。
- A** 全文筆記ではなく、要点筆記でいいとの意味合いのメモ。
- Q** 他町の消防用バイクの状況は。
- A** オフロードタイプで排気量250ccが主で、現場の早期確認と指示系統での活躍が目的。
- Q** 本町への移住人口が増加して喜ばしいが、外国人実習生はその中に含まれているか。
- A** 外国人は含まれていない。
- Q** 赤碕駅の検討の結果はいつ頃で、隣の大山町の状況は。
- A** 結果を出す日にちは決めてなく協議を続けます。大山町は全駅町が所有している。
- Q** 下水道料金を人数制から水量制へ変更するが、上水道料金の変更は。
- A** ビジョンの見直しを行い令和7年度に改正を予定している。
- Q** 新しい地域おこし協力隊は。
- A** アウトドア起業家を募集し、1名の応募があり合格すれば9月より活動を始める。
- Q** 改修した道の駅「琴の浦」が1年経過したが集客状況は。
- A** レジ件数は前年と同水準で推移している。



移住人口について説明を受ける



委員会の報告



教育民生常任委員会

委員長 澤田 豊秋

6月15日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行い、委員会に付託された「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情」、「保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める陳情」について審査し、全会一致で採択することに決した。

また、民生委員・児童委員との意見交換を行った。

《質疑応答》

- Q** こども園への給食用食材は、現在Aコープから配送されているが、この度Aコープが閉店予定であり今後はどうなるのか。
- A** 今後の配送業者は決まっていない。
- Q** DXの推進で、chatGPT（対話型AI）を導入するのか。
- A** はい。
- Q** chatGPTはデータの誤りが多いシステムと聞くが。
- A** 正確な情報をしっかりとる。
- Q** 国が示すDXの20業務の標準化についてはパッケージの部分直すのか。
- A** こちらから提案するのではなく、国の基準に合わせていくので、その部分が大変になる。
- Q** まちづくりセンター化は公民館主体では手に余る、町民への投げかけなど、より丁寧な周知をして欲しい。
- A** モデル地区では、まちづくりセンター化は浸透してきている。進んでいない地区では、区長や公民館運営協議会で話す機会を持っている。
- Q** デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定について、第2期の地方創生戦略に追加するだけで、新たに策定しなくてもよいのではないのか。
- A** 国の交付金の対象とするためには策定が必要。
- Q** JR赤碓駅舎の活用方針決定のスケジュールは。
- A** 駅については、現在立ち止まっている状況で、まだ検討が必要。

民生委員・児童委員との意見交換会

6月15日、琴浦町の民生委員・児童委員さんと意見交換を行った。

当日は米田会長を初め8名の役員さんが出席し、会長から活動の概要説明を受けたのち、現状と課題などについて意見交換した。（内容を抜粋）

- ・民生委員は町への「つなぎ役」。困っているから手伝うとか、買い物に連れて行くことはできないが、現実には難しい。
- ・民生委員に相談するケースは少ない。周りに相談できる地域づくりが大切。
- ・高齢者が高齢者を見守る現在、民生委員の活動にも限界があるので、行政はもっと現場を把握した地域の仕組みを考えるべき。
- ・勤めながら活動するのは大変、本当に役割が果たせているか心配。

初めての意見交換会だったが、委員のなり手不足、個人情報取り扱い、地域福祉の担い手として果たす役割等々の課題があり、民生委員と町、更に議会との連携も図りながらまちづくりを進めていくことが大切であることを確認し合い、大きな一歩となった。



委員の現状が話し合われた

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

	質問議員	質問事項	掲載ページ
6月12日	通告1番 小椋 憲浩	1. 本町のまちづくりについて 2. 水田活用について 3. 防犯カメラの設置について 4. 交通安全対策（自転車のヘルメット着用について）	10
	通告2番 井木 裕	1. 職員の研修について 2. 町の歳入と歳出について	11
	通告3番 山本 秀正	1. 地域おこし協力隊への自立支援について 2. サウンディング調査について	12
	通告4番 田中 肇	1. 公共施設の予約システムの導入効果と課題について 2. 公文書の管理について 3. 東伯総合公園の町サッカー場管理について	13
	通告5番 川本 善孝	1. 農業の担い手、確保施策について 2. 「核兵器廃絶・平和宣言の町」としての取組みについて	14
6月13日	通告6番 谷田 順子	1. 琴浦町における保育行政に対する町長の基本的な考えについて	15
	通告7番 手嶋 正巳	1. 消防用オートバイ導入について 2. 防犯カメラ設置の費用助成について	16
	通告8番 川本正一郎	1. 地域農業振興について	17
	通告9番 押本 昌幸	1. 議場のバリアフリー化の考えはないのか 2. 市町村の特性や課題を反映する「市町村類型」が令和2年度の国勢調査で移行したことについての見解を求める	18
	通告10番 桑本 始	1. 生活困窮者に食料品・日用品を24時間無償提供する「コミュニティフリッジ」の設置について 2. 中山間地域の農地保全、地域資源の活用、生活支援の農村RMO（農村型地域運営組織）、形成推進事業の導入について（農水省）	19



事項一覧



通告書



小椋 憲浩 議員

問

本町の町づくりについて

答

誰一人取り残さない絆社会の実現へ

福本町長

質疑応答時間 (17回 (質問) 30分 + (答弁) 57分) (トータル) 87分

問 本町の「目指す町づくり」「理想の町づくり」について伺う

答 まず各産業とも先人の英知を受け継ぎさらに新たな発展へ進める。そして全世界の共通のテーマである壊さない環境、生かす施設、脱炭素社会の実現に向けて取り組む。さらに、子育てから教育そして障がい者支援など相談できる場所づくりを行い、誰一人取り残さない絆社会を実現したい。

福本町長

答 たとえAIが発達しようとも、人としっかり話し合い、チームや組織で課題や問題を解決していく。困難があっても諦めずチャレンジする。そのような意欲や心構え、そして行動力が一層必要な時代となってきている。児童、生徒には、まず基本的な生活習慣、学ぶ習慣、礼儀やマナーなどのより良い習慣を身につけさせたい。次に人権教育としてあらゆる人権問題の解決を目指す人間を育成する教育の推進・啓発に努めたい。さらにふるさと教育として、わが町を誇れる大人になってほしいという多くの町民の願いを叶える教育、地域と共にある学校での学びを通じて地域活性化の基盤となる教育の実現を目指してまい進したい。

河原教育長

問 多様化する本町の水田活用について、昨今の取巻く状況と今後の取組や方向性について伺う。

答 国の方策に対してはやっていかなければならないと思っているが、担い手の人に農地を集積し高収益作物への転換も必要。農家の高齢化が

進む中で、水田転作では酪農家に頼っている部分が多い。水田を守るという意味では集落営農組織、中山間多面的機能組織の取り組みを大事にしていかなければ、水田や水路の健全化は保たれないし、防災の面からも必要な対策は講じていく。

福本町長

問 本町の施設等に設置されている防犯カメラの活用意義と今後の設置について伺う。

答 本町が管理しているのは9台で本庁舎や浦安駅周辺に設置している。町防犯カメラ設置要領に基づき、設置する場合は犯罪の抑止や個人情報の事も考えていきたいと思っている。

福本町長

答 本年度、八橋小学校と赤碓中学校に設置を予定している。

河原教育長

問 自転車のヘルメット着用が努力義務化されたが、町民への啓発、浸透への取り組み状況を伺う。

答 町のホームページで着用について、お願いをしている。自転車の利用頻度の高い事業所等へ着用について推進を行っていく。

福本町長



いのちを守るヘルメット



町の歳入と歳出について



自主財源の確保に努め、国、県へは要望していく

福本町長



井木 裕 議員

質疑応答時間 (9回 (質問) 18分 + (答弁) 14分) (トータル) 32分

職員の研修について



法令に定められている町職員研修は、任命権者である町長が行うというのが本来の目的であるが町長の方針は。



職員には勤務能率の発揮、増進、そのために研修を受けさせる機会を与えること。任命権者が行うものとするということである。福本町長



町のトップとして、職員に対し、町長の方針をすべての職員へ周知徹底できないと、1万7,000人の町民の生命、財産、生活を守ることができないと思う。職員の能力を100%発揮できる改革をしていくことが町のリーダーである町長の責務と考えるがどうか。



町長が職員を一堂に集めて話をするという体制はとっていない。ただし、月2回は管理職会を設け、各課長がその内容を受けて課の職員へ話をしている。朝ミーティングでは、職員が発言する機会を与え意思疎通が図れる体制をとっている。

福本町長



町の歳入と歳出について



町の歳入・歳出について、各事業を行うには国と県の支援が必要であると考えますが、町長の国や県に対する方針は。



町の歳入と歳出というものがあるが、特に人口減少で町税・使用料など自主財源が減少傾向である。町独自の事業を行うため自主財源の確保に努めなければならないが、国、県それから付随するような制度については関連自治体とも連携して要望を行っていく。福本町長



町の歳入見通しが立たないのでは、町民生活に支障を来たすのではないかと。議会と町執行部は両輪なのだから、執行部が困ったら議会がバックアップするのは当然のこと。町長からは将来ビジョンが見えてこない。町長の考えを伺う。



自主財源については、今年度ふるさと納税に力を入れたい。ただ、地域の特産品などを知っていただく意味もあるので額が高くなればよいという議論ではない。

国県支出金に関しては平凡な事業を要望しても対象にならないこともあり厳しい。福本町長



山本 秀正 議員



地域おこし協力隊任期終了後の起業、定住をはかるための支援について



相談等を密に重ね、支援を行っている
福本町長

質疑応答時間 (25回 (質問) 25分 + (答弁) 43分) (トータル) 68分

地域おこし協力隊への自立支援について

問 本町においての地域おこし協力隊制度の成果と課題について伺う。

答 町の魅力・情報の発信者、農業の新たな担い手等として成果を上げている。任期終了後の起業、定住に結び付くかが課題。

成果としては、ジャンルもそれぞれなので、地域おこし協力隊員が持っているスキルをいかして、町内施設の掲示板の製作とか関係人口の創出、多種多様なSNSを利用したり、メディアによる広報活動を展開している。農業分野においてもミニトマト、梨、これらについては実際にもう就農するという前提で入っている。**福本町長**

問 任期終了後の起業、定住をはかるためどう
いう支援をしているのか伺う。

答 起業支援補助金のほか、地域団体への引き合わせ、定期的な面談、事業計画の協議など定住に向けたサポートを行っている。

地域おこし協力隊が定住するにあたっての支援、補助は、まず、町内の空き家の購入やリフォーム費用の補助を行っている。職員側のサポートとしても、起業に向けた資格取得の相談であるとか、地域の団体等、交流の機会等に引き合わせを行っている。それから、起業後の店舗、商品やイベント等、それに対して相談等を密に重ね、支援を行っているところである。**福本町長**

サウンディング調査について

問 サウンディング調査の今後のスケジュールについて伺う。

答 11月に提案書の提出を受け、12月以降に提案者と個別に対話を行う。

8月には現地見学会等、11月には提案書の提出、12月には提案者と対話という形で個別に協議をして、来年3月までにはその者についての決定を行って、来年度以降の実施に向けていきたい。**福本町長**

問 カウベルホールも対象施設となっている。条例廃止の施設であるがどう取り扱うのか伺う。

答 調査の対象とし、用途を限定することなく幅広く提案を受け付けて、対話によりその活用を検討する。**福本町長**

問 この際、過疎債を活用して必要最小限の修繕等を行い、カウベルホールを再利用することができないか伺う。

答 他の公共施設の整備に多額の事業費が必要となる中で、多額の費用をかけて修繕することは考えていない。

この調査をすることで、行政だけではできない部分、あるいは企業に委ねるのか、企業のほうが手をあげられるのか、法人のほうが手をあげられるのか分らないが、今、カウベルホールも含めて、町の公共施設、空き家の状態がどのような形になるのかという部分をこの調査以降、具体的に詰めてまいりたいと思っている。**福本町長**



東伯総合公園サッカー場の管理について



サッカー関係者は蚊帳の外 365日の利用は困難

福本町長



田中 肇 議員

質疑応答時間 (22回 (質問) 26分 + (答弁) 21分) (トータル) 47分

公共施設の予約システムの導入について

システム導入の効果と課題は

公共施設を利用する場合、わざわざ役場や教育委員会等に出向くことなく、パソコンやスマートフォンを使って申し込みが出来る「施設予約システム」を昨年度、導入されたその効果と課題を伺う。

答 オンライン申請は6割 福本町長

予約システムは現在、町内23施設可能。
24時間365日何時でも予約できるが、インターネットの接続環境が無い方、不慣れで利用しにくいという方がまだ若干おられる。

5月時点のオンライン申請は6割、過渡期であり
今後は利用にあたり不便のないようにしていきたい。

公文書が存在しない町づくりセンター事業

「公文書管理法」で重大な責任問題だが

3月議会の一般質問において、「まちづくりセンター」事業に関する、起案及び決裁文書について町長部局、教育委員会部局それぞれ関係文書が存在しないという、公的機関ではありえない実態が明らかになった。

これは「公文書管理法」第4条に規定する行政文書の作成義務を怠るというコンプライアンスからかけ離れた責任重大な問題である。

前町長の行政事務ではあるが、現町長の責務として他にも同様な行政事務が行われていないか調査・点検されたのか、また原因の究明と再発防止に取り組まれたか伺う。

答 事業のやりとりが見えない中で進めるのは困難、きちんと記されるべき 福本町長

私自身が確認したが、町づくりセンターに関する決済がないというのは、これまでの何年間かのやり取りも見えてこない状況であり、私の体制で物事を進めるといのはかなり困難であると思う。

当然、経緯がきちんと記されるべきであると思う。

問 条例・規則を軽視しているのでは

白鳳の郷地域活性化協議会との不適切な委託事務など、ここ何年の間に、条例・規則をおろそかに（軽視）している危機感があるが。

答 注意して管理したい 福本町長

東伯総合公園サッカー場の管理について

問 現状の管理状況は

東伯総合公園の町サッカー場については、芝の養生のために3月から使用中止になっているが、現状の管理状況について伺う。

答 サッカー関係者は蚊帳の外 365日の利用は困難 福本町長

私も現場を見に行った。

サッカー場に関しては、以前から天然芝か人工芝かという議論があるが、実際にサッカーをする人たちは蚊帳の外にあると思っている。

今後も含めてサッカーをする環境について具体的に詰めていきたいと思っている。

また、天然芝で365日サッカーができる状態は、難しいことだと痛感している。



川本 善孝 議員



国の『みどりの食料システム戦略』への対策は



家庭の生ゴミ、家畜の排泄物を堆肥化する実験に取り組んでいる 福本町長

質疑応答時間 (7回 (質問) 28分 + (答弁) 20分) (トータル) 48分

問 有機農業の問題点は何か

「オーガニック給食マップ」というものがあり、全国123自治体が有機農業で栽培された作物を給食に提供しているが、本町の実態は。

答 条件が厳しい。土づくりから制約がかかってくる。 福本町長

面積が広がっていないのは、土づくりなど栽培するのが難しいからだと思う。

問 『半農半X』『特定地域づくり事業協同組合』*をセットにしては。

有機農業ができるのは小規模農家のため『半農半X』『特定地域づくり事業協同組合』をセットで導入することが必要ではないか。

答 『特定地域づくり事業協同組合』は需要はあるが、そういう組織を作り運営するリーダーが必要と考える 福本町長

梨の時期には人夫を集めるのに苦労されている。逆に北栄のラッキョウの時期には、琴浦から手伝いに行き、普通の農業を手伝ってくれる人がいないという状況がある。

***特定地域づくり事業協同組合とは**

地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業の地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業を行う事業協同組合

問 学校教育の中で、普通の教科以外の、例えば平和教育などの「X」の部分の部分が大事なのではないか

合計特殊出生率2.91で奇跡の町といわれた岡山県奈義町は、劇作家の平田オリザ氏と契約して、小学3・4年生と中学2年生に、演劇を中心にしてコミュニケーション能力を養う授業をされている。

答 ふるさと教育に力を入れたい 河原教育長

わが町を誇れる大人になってほしいという思いで、ふるさと教育に力をいれたい。琴浦町に誇りと愛着を持つ大人となって、活躍する人材を育てていきたいと考えている。

『特定地域づくり事業協同組合』の設置状況

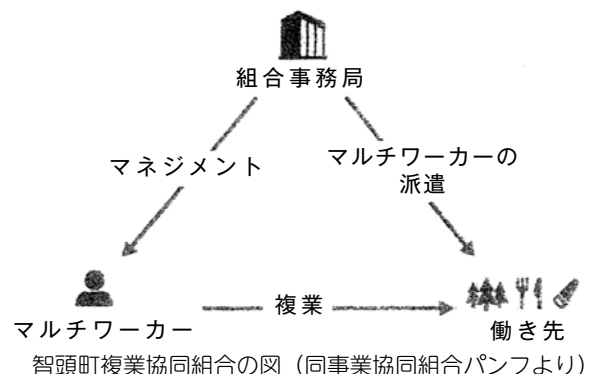
R4年9月30日 62組合

R5年6月1日 87組合

※9ヶ月で25組合増加。

※県内では若桜町、智頭町、日野町にある。

智頭町複業協同組合



智頭町複業協同組合の図 (同事業協同組合パンフより)



保育現場の環境改善に向けた考えを伺う



保育現場の今後の在り方について検討を始めている 福本町長



谷田 順子 議員

質疑応答時間 (11回 (質問) 30分 + (答弁) 19分) (トータル) 49分

問 保育士配置状況と、保育業務について伺う

琴浦町の保育現場における職員の配置比率は、正規職員が41.7%、会計年度任用職員は58.3%となっている。

国が定める『教育・保育要領』に基づく保育サービス提供にあたり、正規職員にも会計年度任用職員にも大きな負担がかかっているのではないかと懸念されている。

答 職員の配置は国の指針に準じて行っている 福本町長

会計年度任用職員の割合は、事務職場であっても保育職場であっても増えている傾向ではあるが、職員の配置と会計年度任用職員等は、国の指針等に準じて行っている。

『教育・保育要領』に基づく指導計画等の業務は、保育士・保育教諭の資格を持った方でないとできない業務になっている。

問 サービス残業等に対する実態把握はできているか伺う

新聞報道では、残業申請がしづらい、保育に使う道具作りを自宅でするなどの状況が紹介されていたが、就業管理システムで勤務実態が把握できていると考えているのか。

答 長時間労働にならないかチェックしている 福本町長

実態は現場で見るだけでなく、統計的な数字も大事であり、就業管理システムで、長時間労働にならないかチェックしている。

問 保育現場の環境改善に向けた考えを伺う

- ① 表面化していないサービス残業などの実態とその要因、改善点を明らかにするために保育士業務の実態調査を実施しないか。
- ② 休暇申請等を出しやすくするために、クラス担任複数制の導入または、フリー保育士を配置してはどうか。
- ③ 保育現場に事務職を配置し、保育士が持つ事務の負担を軽減することで、新人保育士の指導や相談に対応する時間を増やし、安心して保育業務に従事できるよう環境を整えてはどうか。

答 すでに検討を始めている 福本町長

退職者が多かったことも含め、保育教諭・保育士の今後の在り方について職員組合とも話し合っている。実態調査については職員組合が取り組んでいる。保育現場に事務職を入れることについては、まだ先のことになるが検討している。





手嶋 正巳 議員



公共施設の防犯カメラ設置の状況と費用助成は



現在、9台設置している、費用助成は今後の部落要望の状況を見ながら検討したい 福本町長

質疑応答時間 (14回 (質問) 13分 + (答弁) 18分) (トータル) 31分

問 公共施設の防犯カメラ設置状況と費用助成は

- ① 町内施設の防犯カメラの設置状況は。
- ② 分庁舎には設置してないが。
- ③ 導入価格、屋内、屋外で違うと思うが。
- ④ 9地区の公民館には設置すべきと思うが。
- ⑤ 今年度の導入予定は。
- ⑥ 購入費用の助成、1台につき最大10万円まで、1自治会当たり2台が上限でどうか。
- ⑦ 現在、町内では大きな犯罪は起きていない。今後の事を思うと順次導入すべきと思うが。

答 防犯カメラは9台設置。費用助成は今後の部落要望の状況を見ながら検討 福本町長

- ① 本庁舎4台、JR浦安駅周辺3台、しらとりこども園2台。
- ② データ管理を本庁舎でやっている。サーバー自体外部に設置しているので、必要性ないと判断。
- ③ 標準的な価格は15-20万円、設置場所により価格は変わる。
- ④ 要望が上がってくれば協議をさせてもらう。
- ⑤ 八橋小学校、赤碕中学校に設置予定。

河原教育長

- ⑥ 今後の部落要望の状況を見ながら検討する。
- ⑦ 保護者や各施設の職員等にも意見を聞き前向きに検討する。

河原教育長

問 消防用オートバイ導入は

- ① 火災、自然災害、人命救助など消防団員は活動されている。団員の中から導入の話は上がってこないのか。

- ② 北栄町は導入に有利な補助制度を利用されたと聞いている。琴浦町でも補助制度を調査されては。
- ③ 湯梨浜町、北栄町、南部町、日野町は導入されている。目的は災害時の情報収集、消防車が入れないところ、先行して初期活動を行うことだと思っている。今後、検討の余地はないか。

答 出動人員の確保、二輪免許の取得など速やかな導入は困難 福本町長

- ① 消防団から要望はきていない。消防車を出動させる人数を揃えるのが大変重要と思っている。
- ② 補助金以前に湯梨浜町、北栄町の実態を聞いてみる必要はあると思う。
- ③ 4町の実態は把握していないのでまずは、情報収集をしていきたいと思う。



参考：北栄町消防団所有オートバイ



地域農業振興について



特色ある琴浦産品を次世代に残すため、小さなことでも取り組んでいきたい 福本町長



川本 正一郎 議員

質疑応答時間 (12回 (質問) 30分 + (答弁) 46分) (トータル) 76分

問 農業生産活動の支援について

高齢化が進み地域の集落営農組織を支える人材が減っているなかで、琴浦町総合計画の集落協定に基づき、さまざまな農業生産活動を支援するとあるが、これまでの支援の状況について伺う。

答 スマート農業の事業提案などを行っている

集落営農組織の現状を把握するための意見交換会を行い、支援の仕方を探っている。

普及所と協力し、いろいろなメーカーの機械の紹介やスマート農業の導入の提案などを行っている。

問 農業の次期若手リーダーに地域おこし協力隊の活用を

集落営農の人手不足を補うのは、国・県・町が進めるスマート農業の推進だと考えている。

今、町では特定の農作物の栽培を行う地域おこし協力隊を募集しているが、スマート農業を活用し生産組織の次期若手リーダーとなる人材を地域おこし協力隊として募集できないか伺う。

答 検討し募集していきたい

スマート農業のオペレーターになり得るような方の受け入れ先や対応を皆さんと相談しながら検討し、これからの地域おこし協力隊の募集をかけていきたい。

問 特色ある琴浦産品を次世代に

琴浦町には今が旬のがぶりこやエリザベスマロンなどの特色ある産品があり、インスタグラムやラインなどのSNSで、どんどん情報を発信していただきたい。

琴浦産品の情報を発信することでブランド化や販路拡大につながると考える。

また、町内外に琴浦産品の認知度をあげることで地域の特産品を次世代に残すことができると考えるが、町長の考えを伺う。

答 小さなことでも取り組んでいきたい

今年度から、SNSの動画の発信に力を入れて取り組んでいるところである。町報の偶数月に「琴浦レシピ」を掲載しており、レシピには旬の食べ物や産品、町内の事業所で作っている商品などを紹介している。町報と同じようにインスタグラムやフェイスブックにも掲載している。

琴浦に生まれ育った方でも、改めて地元の良さを発見することもあると思う。次世代につなげていくために小さなことでも取り組んでいこうと思う。





押本 昌幸 議員

問

「市町村類型」が「Ⅳ-0」から「Ⅳ-1」に移行したが影響は

答

大きく影響はない

福本町長

質疑応答時間 (8回 (質問) (答弁) (トータル) 30分 + 13分) 43分

問 「市町村類型」が「Ⅳ-0」から「Ⅳ-1」に移行した、この影響は

市町村類型は、人口規模と産業構造を指標に分類したもので、類似団体（類団：レイダン）と呼ばれることが多い。この類型は、市町村の特性を知る一つの目安となっているが、移行した影響は。

町村類型分類表

人口	産業構造 類型	Ⅱ次、Ⅲ次80%以上		Ⅱ次、Ⅲ次 80%未満
		Ⅲ次 60%以上	Ⅲ次 60%未満	
5,000人未満	I	I-2	I-1	I-0
5,000~10,000未満	II	II-2	II-1	II-0
10,000~15,000未満	III	III-2	III-1	III-0
15,000~20,000未満	IV	IV-2	IV-1	IV-0
20,000人以上	V	V-2	V-1	V-0

方交付税の算定方法が変更され、地方交付税が減少の可能性、地方債（臨時財政対策債～「赤字町債」のち国の交付金で補填）の発行額が拡大されるとあるが、その真偽は。

答 市町村類型で交付税算定が変わることはない

福本町長

財政上、市町村類型で交付税の算定が変わることは基本的にはない。また、地方債の発行額が増えることもないので、誤りだ。

問 「地方3税」の変化、という資料では「移行」によって、歳入が約2割減とあるが

人口1人あたり地方3税の変化 「地域経済研究 第23号」2012

	約2割減	2009年度			
		3税計	地方税	交付税	国庫金
Ⅳ-0	<	385	98	207	80
Ⅳ-1		301	109	140	53
Ⅳ-2		293	122	110	60

答 大きく影響はない

福本町長

第一次産業の就業人口の減少の傾向が大きい。ただし自治体の指数とか生活の分野には影響はない。

問 市町村類型の「移行」について生成AIに聞いてみた

AIの答えの1つは、「Ⅳ-1」は「Ⅳ-0」より財政力が低いとあるが、これはおかしい。ほかには、「地

中国財務局鳥取財務事務所財務課

(単位:人)

	総人口	産業別人口構成					
		第一次産業 就業人口	構成比	第二次産業 就業人口	構成比	第三次産業 就業人口	構成比
H22年国調	18,531	2,023	21.8%	2,281	24.6%	4,959	53.5%
H27年国調	17,416	1,943	21.7%	2,175	24.3%	4,818	53.9%
R2年国調	16,365	1,667	19.1%	2,136	24.5%	4,909	56.3%
R2年国調	全国平均		3.2%		23.4%		73.4%
	鳥取県平均		7.8%		21.7%		70.5%

答 資料を見るとそういうところかなと思う

福本町長

(統計上「移行」すれば) 税収は多くなる傾向にある。そういう意味で、反比例して「交付金」は減る。「国庫金」も、そういうところ。

問 「交付金」「国庫金」の減少分の代わりに「臨時財政対策債」の枠が増えるのでは

答 その借金分は交付税で戻る

福本町長



生活困窮者に食料品・日用品を24時間無償提供する「コミュニティフリッジ」の設置を



フードサポート事業を展開しているが制度上の調査も必要 福本町長



桑本 始 議員

質疑応答時間 (10回 (質問) 30分 + (答弁) 18分) (トータル) 48分

問 琴浦町に「コミュニティフリッジ」の設置を

全国に広がりつつあるコミュニティフリッジとは「地域（コミュニティ）と冷蔵庫（フリッジ）」を組み合わせた造語。いわば「地域で使う冷蔵庫」という意味。

岡山市と岡山市社協が共同で発信する「岡山親子応援メール」には、児童扶養世帯、就学援助世帯、経済の影響による仕事の事情、離婚や介護などの家庭の事情等の生活困窮者に対し、食料品・日用品を、設置された冷蔵庫や冷凍庫にて24時間無償提供する仕組みがある。

岡山では「困ったときは、お互いさま」の助け合いの精神で個人・企業・商店が提供、希望者約250人。

利用者は、利用登録し電子ロックを受け取り、都合の良い時に取りに行くことが可能である。

琴浦町に「コミュニティフリッジ」を設置してはどうか伺う。

答 フードサポート事業を展開しているが、制度上の調査も必要 福本町長

町では、生活困窮者を対象に町民・町内企業等から寄附を受けてフードサポート事業を展開している。困窮者からの相談があれば速やかに支援を行っており、顔が見える体制である。

ひきこもり、障害者等、昼間は来れない部分についてコミュニティフリッジの制度上の調査も必要である。

問 中山間地域の農地保全、地域資源の活用、生活支援の農村RMO（農村型地域運営組織）の導入

中山間地域の人口減少と農業集落の状況は、条件不利地域ほど人口減少は顕著であり、集落内の戸数減少は著しい状況。集落戸数が10戸を下回ると、農地保全等を含む集落活動の実施率が急激に低下し、食料供給機能や多面的機能の維持・発揮に支障が生じる恐れがある。

複数の集落や農業法人、社協、女性会、PTA、自治会等多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基礎となる「農地保全」「地域資源の活用」「生活支援」に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき事業を実施する。R4～R8農水省の予算で、R8までに全国100地区支援する。各地区の計画作成や実証事業などに、最大1千万円の助成（事業期間は最大3年間）事業を導入してはどうか伺う。

答 地域の課題の主役は地域の人であり機運の盛り上がり期待 福本町長

中山間地域は3地区で活性化協議会が出来ているが、農村RMOと同じでない部分は農地保全する組織である。この組織と地域の組織（地域資源の活用、生活支援）が協力し合うことで農村RMOに発展に結びつけばいいが現実には難しいのではないかと危惧している。

地域の人が運営できるのであれば、後押しは全面的にやりたい。

町民の声

敬称略

退職就農して

私は30年程前に勤めていた職場で、農産物価格に一喜一憂しながらも元気に明るく野菜栽培に取り組む農業者の皆さんに接している中、自身でも野菜の栽培・販売を行いたいと強く思うようになりました。その思いを実現するまで時間がかかりましたが3年前に退職、就農しました。



ふくもと あきひこ
福本 明彦

琴浦町においても農業者の高齢化や後継者不足が進み、農業振興の足かせとなっているところです。この問題を解消しようと県外出身者を含め新規就農者の研修や就農支援に町、県、JAおよびスイカ・ミニトマト等の生産部が一丸となって取り組まれており、若い農業者が育っています。その元気に取り組む姿は私にとって大きな励みです。若い農業者は少しずつ育っていますが、農業の振興を図る上で絶対数が少ない状況に変わりなく、今後も農業担い手の確保は大変大きな課題です。

新しく農業を始める上で、農地や農業機械等の農業基盤を確保することはハードルが高く、非農家出身者の就農希望者にとっては多くの困難を伴います。一方、農業基盤を有し、他産業に従事する兼業農家等は町内にも多くおられます。

退職就農、定年帰農といった言葉があります。若い農業者の育成と併せ、農業基盤を有し、退職後に就農される方を新たな担い手として確保し、定着させる支援策を積極的に講じていただきたいと思います。

倍の楽しみ

空も雲も家も夕日も倍になり
こころ豊けし水張田の季は
(短歌、2016年作)



なかむら れいこ
中村 麗子

田に水が張られ、まわりのものを映すこの季節は、大変すばらしく、倍の楽しみがある。この美しい景を見ていると、自分たちの代で終わらせてはならないと強く感じる。

私の住む下市地区には、^{むら}邑の北側に広い農地がある。「大山、農地、海」の見えるこの農道を歩くのを、私はとても気に入っている。

水張田の水面は、空の細部までくっきりと映している。夕方は、その景に夕陽が色を添えて、ほんとうに見ごとな景である。まさに日本の原風景があると思う。

この美しい景を残せるように、そして、この景のように小さなもの、小さな声も落とさないように議会も取り組んでもらいたい。そのためには、議員定数を減らさないで欲しい。

近ごろは、大きな声、強い声ばかり届きやすい。そして、短絡的に「定数削減！」と叫ばれやすく、私は疑問を抱いている。小さな声も大切に拾って届けてもらうために、さまざまな議員が必要であると思う。

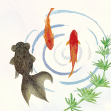
水張田の美しい景のように、深く議論をつくして「倍の楽しみ」を味わわせていただきたい。そして、私たちもその様子を見守っていきたいと思う。

あとがき

編集委員は、「ことうら議会だより」が発刊に至るまで激しい議論を展開しています。各議員から提出された原稿を尊重しつつも、広報誌としてのルール、読者に対して読みやすく、そして伝わりやすい紙面作りに努めていますが、皆さんどう感じておられますか？

本町の議会だよりは、毎年県下で開催されるコンクールで優れた結果を残してきています。しかし最も優秀な紙面作りに手が届いていません。

これからはそこを目指して読者の意見を参考に委員長を中心に頑張りたいと思っています。(憲)



議会広報常任委員会

委員長	川本 善孝
副委員長	金光 敦
委員	山本 秀正
委員	田中 肇
委員	谷田 順子
委員	小椋 憲浩

題 字 山田 美鈴 氏